

平成26年10月21日
担当 文化振興課 西崎
電話 34-4942

奈良市は2016年文化庁「東アジア文化都市」の 国内候補都市に選ばれました！

2014年から，日中韓3か国において開催されている『東アジア文化都市』事業の2016年（平成28年1月～12月）第3回日本国内候補都市に「奈良市」が選ばれました（文化庁同時発表）。

『東アジア文化都市』事業とは，文化・芸術イベントをはじめとした創造的な取り組みにより，東アジア域内の文化による相互理解，平和交流と連帯感を形成し，東アジアにおける多様な文化の国際発信力を高めていくことをめざす国家プロジェクトです。2014年から毎年日中韓各々1都市の開催都市を定め，1年を通じてその都市ならではのイベントや3か国共同事業を開催します。

1 「東アジア文化都市」の概要

日中韓3か国において，文化・芸術を活かした発展をめざす都市を選定し，その都市において，現代の芸術文化から伝統文化，また多彩な生活文化に関連する様々な創造的なイベント等を実施するもの。2011年1月に奈良市で開催された第3回日中韓文化大臣会合において日本が提案し，翌年5月の同会合で，2014年1月からの開催が決定されました。2014年から毎年，日中韓で各1都市，合計3都市を選定。中国・韓国の開催候補都市は今後決定される予定です。

なお，2014年の開催都市は，中国は泉州市，韓国は光州広域市，日本は横浜市です。

2 開催時期

2016（平成28）年1月～12月

3 正式決定について

2015年中に開催される日中韓文化大臣会合において，日本・中国・韓国のそれぞれの選定都市が正式決定される予定です。

4 今後の事業の進め方について

今後2016年の開幕に向けて，文化庁と協力しながら事業実施の準備を進めてまいります。

【裏面へ続く】

【仲川 げん 奈良市長コメント】

東アジア文化都市の国内候補都市に選ばれ、大変光栄に感じるとともに、この国家プロジェクトを是非とも成功させなければならない責任の重さも感じております。

奈良市が世界に誇る文化遺産を活かして、奈良にしかできない質と発信力をもった文化の祭典としてこの事業を成功させ、本市の文化振興や観光振興にも大きな果実をもたらしたいと考えております。

現在の東アジアの緊張状態に風穴を開けられるのは「文化の力」です。東アジアの安定は世界平和にとって重要な要素であり、奈良は多様性を受け入れる寛容の精神によって東アジアの平和構築に貢献できるものと考えます。

奈良市は先人が守り抜いてきた文化遺産を今後も継承するとともに、このたびの「東アジア文化都市2016」によって、未来に向けて継承すべき新たな文化の創造に取り組み、伝統と創造の響き合うまち奈良をめざします。

〈参考〉文化庁の公募概要

1. 事業の目的

- ・現代の芸術文化から伝統文化、また 多彩な生活文化に関連する様々な文化芸術イベント等の実施により、東アジア域内の相互理解・連帯感の形成を促進するとともに、東アジアの多様な文化の国際発信力を強化する。
- ・当該都市がその文化的特徴を生かして、文化芸術・クリエイティブ産業・観光の振興を推進することにより、事業実施を契機として継続的に発展する。

2. 選定基準

中国、韓国をはじめ東アジア諸国との文化交流、文化都市、創造都市としての施策展開の実績及び今後の計画、実施される事業の内容等を考慮して選定。

3. 募集都市数

2015 年、2016 年、2017 年の「東アジア文化都市」を募集。（応募の中から日中韓各 1 都市、各年計 3 都市の合計 9 都市を選定）

4. 事業内容

選定都市は、事業の目的を踏まえ、1 年（1 月～12 月）を通じて、下記の内容等に係る様々な文化芸術イベントを企画・実施する。

- ・開会イベント、閉会イベント
- ・日中韓 3 か国の共同事業（共同制作公演や展覧会など）
- ・中核期間（1 か月程度）を設け集中的に文化芸術関連イベントを実施

5. 募集対象

市区町村

6. 募集期間

平成 26 年 6 月 30 日（月）～7 月 30 日（水）